

一般質問の概要

令和6年第4回 二宮町議会定例会

- 12月5日（木）午前9時30分～
（古谷健司、大沼英樹、浜井直彦、野地洋正 各議員）
- 12月6日（金）午前9時30分～
（一石洋子、渡辺訓任、松崎健、小林幸子 各議員）

※質問日及び質問の順番は11月27日の議会運営委員会で決定となりますので、変更となる場合があります。

※両日とも2番目以降の質問開始時刻は、直前の質問終了後となります。

No	質問予定議員	質問概要
1	古谷 健司 議員	<p>1 全ての小・中学校を自由学区(自由選択)に 2 一色小学校の、全学年単級について 3 一色と緑が丘の児童の中学校を自由選択に 4 部活動の選択で、他校を選ぶことについて (放映件名：全ての小・中学校を、自由に選べないか)</p> <p>(1)令和4年に文科省において、「就学校の指定・区域外就学の活用状況調査について」の調査を行っているが、その調査によると、全国の25%程度の教育委員会が学校選択制を導入あるいは導入の検討を行っている状況である。二宮町においても全ての小・中学校を自由学区とし、児童・生徒と保護者が行きたい学校に行けるようすべきだと考えるが、どう思うか。 ①小学校3校、中学校2校において、自由学区（自由選択制）は導入できないか。 また、自由学区に到達する前に、現状2つの問題が存在するので質問する。</p> <p>(2) 現在、一色小学校は、令和6年5月1日現在で、1年生25名、2年生27名、3年生29名、4年生21名、5年生35名、6年生27名と全学年、単級、となっている。 単級のデメリットは、クラス替えができないため、児童の人間関係が固定化しやすく、人間関係上の問題等が発生した場合に、問題の解消が難しいこと等が挙げられる。また、メリットとしては、目の届く教育がしやすいということ等が挙げられる。この、単級問題を解消するために、全国では学校選択制を導入している自治体が多く見受けられるが、二宮町においても学校選択制を導入してはどうか。学校選択制を調べてみると、令和4年の文部科学省の調査では、学校選択制の実施形態には概ね5つある。 (A) 自由選択制、当該市町村内の全ての学校のうち、希望する学校に就学を認めるもの。 (B) ブロック選択制、当該市町村内をブロックに分け、そのブロック内の希望する学校に就学を認めるもの。 (C) 隣接区域選択制、従来の通学区域は残したままで、隣接する区域内の希望する学校に就学を認めるもの。 (D) 特認校制、従来の通学区域は残したままで、特定の学校について、通学区域に関係なく、当該市町村内のどこからでも就学を認めるもの。 (例) 山間部で小規模となっている学校について、設定されている通学区域に関係なく、当該市町村内のどこからでも選択することを認める場合。</p>

(E) 特定地域選択制、従来の通学区域は残したままで、特定の地域に居住する者について、就学を認めるもの。

(例) 都市部で大規模となっている地域に居住する者について、設定されている通学区域に関係なく、当該市町村内の通学区域外の学校を選択することを認める。

この説明書きにもあるように、(D)の「特認校制」は、導入理由の94.4%(小学校)は小規模校の課題解消のためというものだった。しかし、山西小から一色小に選択できるのに、逆の選択ができないことは、単級問題だからと言って本当に公平なのか。また、一色小学校を特定の学校に指定した時、3km以内であったとしても、小学生が果たして茶屋の辺りから一色小学校まで歩いて通えるか。そう考えた時、(C)の隣接区域選択制がいいのではないかと考えた。この隣接区域選択制だと、一色小学校と山西小学校の学区の境目の児童が自由に一色小学校か山西小学校かを選べる、あるいは、一色小学校と二宮小学校の学区の境目の児童が自由に一色小学校か二宮小学校かを選べる等ができ、両方の学校の本人あるいは保護者の意思が尊重される。そこで、以下の質問を行う。

- ② 一色小学校の単級問題という課題の解消についてどう考えるか。
- ③ 学校選択制の導入についてどう考えているか。
- ④ 学校選択制を導入した時、通学距離が長くなり、安全の確保が難しくなったという意見が文部科学省の令和4年の調査にあったが、どう考えるか。
- ⑤ 隣接区域選択制は、通学距離が最小限に抑えられると思うが、導入できないか。
- ⑥ 学校選択制を導入した時、学校と地域との連携が希薄になったという意見も文科省の調査結果の意見にあったが、どう考えるか。

(3) 現在、一色小学校を卒業した一色と緑が丘地区の児童は二宮中学校に通学している。

当初、一色と緑が丘地区の児童は、中学校を自由に選択できる案も検討したが、一色小学校の保護者より混乱を招くとの意見が多く寄せられ、当面はそのままとなった。6年間一緒だった仲の良い友達と別れなくて済む自由選択制の導入が、どういう理由で混乱を招くことになったのか。本来なら歓迎されるべき政策だったはずだと思う。そこで以下の質問を行う。

- ⑦ なぜ、自由選択制を導入しようとしたのか。目的は。
- ⑧ なぜ一色と緑が丘地区の児童だけ自由選択制を導入し百合が丘は考えなかったのか。
- ⑨ 中学校を自由に選択できる案も検討したが、一色小学校の保護者よりかえって混乱を招くことになるとの意見が学校に多く寄せられたため、当面はそのままにするということになったとのことだが、具体的にどのような意見があったのか細かく教えてほしい。
- ⑩ 新中学1年生となる保護者と児童に自由選択制についてのアンケートは行わないのか。
- ⑪ 一色小学校は、将来的に自由に中学校を選択することはできないのか。
- ⑫ 二宮小、山西小学校も、自由選択制を導入できないか。

(4) 現在、指定を受けた学校に希望する部活動がなく、他校にある場合(原則、3年間在籍)、新中学1年生は部活のある中学校に進学することができる。例えば、茶屋から山西小学校に通っていた小学6年生は、本来なら二宮西中に進学する。しかし、部活で卓球を行いたいために、卓球部のない二宮西中にはいかず、卓球部のある二宮中に進学することができるというものである。全国的にはよくある制度であり、いい制度だと思う。ところで、今のこのような例の場合、以下の質問を行う。

- ⑬ 茶屋から二宮中に自転車通学は認められるのか。また、バス通学は認められるのか。

		<p>⑭ 二宮中学校学区内で、自転車通学が認められる地区とそうでない地区がある理由は。</p> <p>⑮ 部活の関係で二宮西中に進学し、下町から通学した時、自転車通学は認められるのか。</p>
2	大沼 英樹 議員	<p>町長公言の取り残さない安全・安心な町づくりを求める (放映件名：町民を守るための最優先課題は治水計画)</p> <p>残念ながら、8月30日、台風10号の影響による線状降水帯が発生し、命の危険や身の安全確保を求められる災害警戒レベル5に相当する豪雨による浸水被害が発生しました。早朝の人の少ない時間帯だった事もあり、人命に関わる災害には至りませんでした。浸水箇所からは多くの被害が報告されています。家屋の損害や自動車・オートバイの水没が相次ぎ、事業者関係者においては、出勤してみると店舗が浸水し、商品や設備といった高額な財産を失うこととなりました。営業ができない状態が数日間続き、営業損害はもちろんのこと復旧作業や被災ごみの片付けは、危険や困難を伴うものであり、怪我をされた方も居たと伺っています。</p> <p>被災された方々からは、11年前の平成25年も同様の浸水被害が発生し、30年前には葛川が大きく氾濫し、各方面に再発防止の対策を求めたものの抜本的な改善が行われず、今回、再発と言う形で水害が発生したことに嘆きや落胆、さらには怒りの声が多数寄せられています。</p> <p>私自身も、平成25年の浸水被害に際して消防団員として対応した経験があります。その後、町が進めるラディアン周辺への新舎移転計画に疑問を抱き、この計画に反対するために議員となりました。議会ではこれまでの6年間で12回、浸水被害に関わる問題を提議し質問をさせて頂いています。一度は村田町長から白紙撤回という発言もありましたが、その後、さらに進められた計画は更に悪化し絶望と共に言葉を失いかけていました。</p> <p>しかし、今回の水害を目の当たりにし、これまでの私の見解や方針が間違っていないという確信を持ちました。この確信をもとに、計画の変更を求めるとともに、現町行政の姿勢について質問を行っていきたいと思います。</p> <p>要旨</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 昨今の集中豪雨による災害状況と傾向について。 2. 8月30日の葛川氾濫による被害と災害対策・対応について。 3. 葛川河川整備計画の状況と治水計画の検討について。 4. ラディアン周辺施設建設計画変更の必要性について。

3	浜井 直彦 議員	<p>町は豪雨災害に適切に対応しているのか (放映件名：町は豪雨災害に適切に対応しているのか)</p> <p>地球規模での温暖化に伴う異常気象は常態化し、世界各地で大きな自然災害が繰り返し発生しています。これらは主に気候変動による影響の中、自然現象として変化が起きる場合もありますが、多くは人間の社会経済活動が変化を引き起こしており、主には化石燃料の燃焼により温室効果ガスを発生させてしまうことが原因とされています。</p> <p>我が日本においても、温室効果ガスの削減は思うように進まず、毎年最高気温が更新されるほどの暑い夏が当たり前のことのようになり、農作物や生態系にも大きな影響が出ています。</p> <p>「二宮町は、温暖で大きな災害も無く過ごしやすい街」と言われてきましたが、近年の町は例外無く、気象の変化は確実に起きており、その一つに雨の降り方の異常さは感じずにはられません。世界各地でも大雨が濁流となり、まちやひとをも飲み込んでいく凄まじい光景が頻繁に映像として流されています。これは何を表しているのか？従来型の考えでは治水対応が追い付かない、まるで歯が立たないと理解せざるを得ません。今後も頻発し、更なる甚大な被害が発生してもおかしくはありません。</p> <p>さて、本年8月30日、台風10号の影響により当町の中心を南北に流れる葛川は溢水し、川の近隣の住居や店舗などが床下・床上浸水。車が水没してしまうなどの被害が発生しました。</p> <p>県平塚土木事務所管理の二級河川は、現在も整備計画の進行中であり、更なるスピード感をもって可能な対策工事を進めるのはもちろん、二宮町として今後の水害を防ぐべく、万が一の被害も最小となるよう、どのように町民の更なる安心安全を担保するのか、下記について伺います。</p> <p>① 今回の台風10号の対応について ② 消防・消防団、警察との連携や、災害・危機情報の住民への素早い伝達について ③ 被害が発生した時の被災者への支援体制（ボランティア等も含む）について</p>
4	野地 洋正 議員	<p>どう変わる役場新庁舎 (放映件名：役場新庁舎整備 災害対応は)</p> <p>今定例会では、一般会計補正予算（第6号）において、新庁舎整備事業として、果樹公園土地購入費1億3,200万円強、建設費として債務負担行為約30億円が提案されている。</p> <p>審議の前に、改めて役場新庁舎の必要性、災害時の対応力強化について確認する。</p> <p>1, 現役場庁舎の問題点、課題は 2, 役場新庁舎整備により問題点、課題はどう改善されるか 3, 役場新庁舎整備における災害対策本部の装備・機能は</p>

防災減災と未来に向けた公共施策についてラディアン周辺公共施設集約事業の
メリットを問う

(放映件名：ラディアン周辺公共施設集約事業戦略を問う)

巨大地震、気候変動時代の線状降水帯等のリスクと、少子高齢化に係る重層的な課題、孤立化、特に今般のこども家庭庁の政策転換の根拠である、子ども若者、そしてこれから生まれてくる子どもたちの社会状況の激変等、自治体が対応を迫られている多様な課題に如何に答えていくのか、正念場を迎える今、100年弱を見通したラディアン周辺行政機能等集約事業への投資はしっかりとした戦略をもって臨みたいと思う。以下を確認する。

要旨1 災害リスク対応について

- ① 防災減災は行政サービスのみではなく、町ぐるみで取り組むべきこと。住民の一人ひとりが行政の持っている専門的知見を共有し、生活の中で自分と地域の安全を護る力を身に着ける必要があるが如何にとらえているか
- ② 福祉と防災のまちづくりが求められている。社会福祉協議会や各種団体など多様な社会資源とのコミュニケーション、連携が重要だ。町内に活動する多様なコミュニティーや特色を持つ団体と協働することでコミュニティソーシャルワークが推進されると考える。

福祉と防災が繋がる協働の実践の状況を問う。

- ③ 若い世代を巻き込む戦略はあるか
- ④ 葛川溢水の減災について秦野、中井、二宮、大磯流域で行政、住民、学者と共に検討する協議体が必要と考えるが現状はどうか。
- ⑤ 小山群の崩落について行政の防災、減災施策を確認する。さらに流域治水について国も推奨する古くて新しい千年続くまちづくりの知見であるグリーンインフラをどのようにとらえ実装するべきと考えるか。

要旨2 子どもたち、若者たちの生活の質を如何に上げられるか

- ① 教育福祉常任委員会ではここ数年2度にわたり武蔵野プレイスを視察、10代の子どもたち、若者たちの居場所に特化した滞在型図書館の価値を訴えてきた。
不登校児童生徒の過去最高の増や子ども、若者の自殺率の増、自己肯定感の低さ、引きこもりの若者の増、孤立化など、こども・若者について自治体から成育環境へのテコ入れは待ったなしだ。現在のラディアンの生涯学習施設として時代のニーズにこたえていない点は何と捉え、今回の改修によって改善される効果は何か確認する。
- ② ラディアンミーティングルームで開催されてきた気候非常事態宣言のアクションである気候市民会議は、常識が通用しなくなっている今と未来に向けて住民の専門的な知識を高め、政策提案と社会実装につなげる世界的な潮流である。にのみや気候市民会議は人口2万8000の町規模の可能性を引き出したと評価している。それはまさに多様な住民同士の智慧を集め、さらに一人一人が活かされる暖かいコミュニケーションのすばらしさに尽きる。生涯学習と政策提案が繋がるデザインこそ、この行政機能集約事業に期待したいと考える。ラディアンにおける将来の生涯学習や町民活動がどの様に変化する事を期待しているのか。

5

一石 洋子
議員

要旨3 新庁舎建設で実現される課題解決に係る効果

① 庁舎について まさに過去の続きを創ってきた公、つまり、法令や経験、過去と照らして今の状況を判断してきた公が、激変する今ある情報を組み合わせて先を読み、判断することが迫られている。重要なことは住民が行政の役割や限界をよく知り、住民、民間の力をいかに発揮してもらうことだ。特に防災はすべてを繋ぐ要素であり、福祉もつながる公のかなめの仕事だ。現庁舎と比べて庁舎内の職員と多世代の町民がコミュニケーションや多課横断的、また町民や民間との協働を推進するために建築計画にどのような工夫があるのか。

② 南棟について現在の保健センターの機能に比べて充実する点を確認したい。

③ ラディアン周辺のランドスケープについて 被災の経験を活かし、町民に風土への対峙の在り方を提案するまたとない機会だ。新庁舎の基本設計における雨水排水の計画とともに、グリーンインフラの採用により、賄えられる部分はあるか。

ラディアン周辺行政機能等集約基本設計業務に係るプロポーザル実施要領 審査項目に、ラディアン周辺を「居心地の良いエリア」にするために「ラディアン周辺をあらゆる世代の方々にとって日常的な居場所に相応しいエリアにするとともに、ラディアン花の丘公園も含めた公共空間として居心地の良い憩いの場の創出を目指しているがどのような提案が考えられるか。」という項目があった。(評価配点 15 点)。最も高い評価を受けた株式会社安井建築設計事務所の実施提案書にはこの項目を満たすような町民が交流できる憩いの場(「ニノ花広場」、「ニノ町スペース」など)が提案されて基本構想で描かれた。国内にはオガールプロジェクトのような先進の公民連携に挑む公共施設集約事業の事例があるが二宮町独自の渾身の公民連携のチャレンジが欲しい。パブリックコメントでも専門知識を持つ町民から建設的な提案も出ていた。新庁舎整備においても、町民と共に作り上げていく機運を高め、連携する取り組みが必要と考えるがいかがか。

高齢者へのくらし支援について
(放映件名：高齢者へのくらし支援)

最近、高齢の方々から「この先が見通せない」「なんとかして欲しい」と伺うことが多くなりました。物価高騰が止まらず、年金は実質目減り。一方で、国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険など社会保障について、負担増の議論まで出される中、少なくない方々が将来への心配をされている。

もう一つの心配は、訪問介護のサービスが今後も受けられるかということである。全国で少なくない自治体が「訪問介護の事業所がない」とも報道されており、訪問介護を受け続けることができるだろうか、自分は将来訪問介護を受けられないのではないかと心配の声がある。

一方で、社会との関わり方が高齢者のくらしの質、認知症や健康との関係が広く指摘され、さまざまな提案・試みがなされている。また、近隣の市町でもさまざまな事業が行なわれているが、これまでも要望をしてきた事項について、現状を伺う。

1. 町の訪問介護事業者の現状はいかがか
2. カナちゃん手形の購入補助は
3. 補聴器購入の支援は
4. 带状疱疹ワクチンの接種補助は

以上

風水害対策の強化について
(放映件名：風水害対策強化について)

8月30日朝の台風10号による葛川の氾濫、町内各所での土砂の崩落など、集中的な豪雨が住民のいのちと暮らしを脅かす恐ろしいものであることを改めて認識することとなった。葛川の氾濫については、葛川水系流域治水プロジェクトとして要因が解析されている段階だと認識するが、町民の間には「日常的な管理が適正に行なわれていたか」との声もあり、町としての解析も必須であると考えている。全国的には時間あたり50mm、80mmを超える豪雨の発生頻度が高くなっており、当町においても風水害対策の強化が急がれる。当町における風水害対策の強化策を問う。

1. 葛川氾濫・土砂崩落の原因などの究明の現段階での到達
2. 避難所運営の状況
3. 今後の風水害対策
4. 被災状況の把握、被災者への援助

以上

6

渡辺 訓任
議員

闇バイトによる強盗対策

(放映件名：闇バイトによる強盗対策)

住宅を狙った、いわゆる闇バイトによる強盗事件が首都圏で相次いでいます。警察当局も危機感を強めている中、実行したグループが事前にリフォームの飛び込み営業を装って住宅に上がり込み、資産状況を把握する「下見」をしていた疑いも浮上。警察当局は、訪問業者との接触には注意を払うよう呼びかけています。

横浜市青葉区の住宅で75歳男性が殺害された強盗殺人事件では、周辺で夏ごろ、水道管検査や宝石の買取業者を名乗る男らが、約束もなく次々と住宅を訪問していたと報じています。この「下見」を巡っては、私自身にも心当たりがあり、加えて度々掛かってくる無言電話も家庭内の状況を把握する意図を持ったものであることも否定できず、とりわけ少子高齢化が進むみ時間帯によっては閑散としている地域の一人暮らしの高齢者にとって不安要因となっています。そこで以下問います。

- ・このような状況下、町はどのような対策を講じているのか。

葛川の治水を巡り、町に出来ること

(放映件名：葛川の治水を巡り、町に出来ること)

令和6年8月30日未明からの豪雨被害はまだ市内各署に爪痕を残しています。とりわけラディアン付近に置ける葛川の洪水を巡っては、治水の責任は神奈川県にあることから、町は県に対し「お願い」をする立場にあり、私が議員になってから少なくとも2度に渡り意見書を県に提出(R2.1.30、R6.9.10)することで「お願い」を継続しています。そうした中、令和6年11月8日の全協で「(「お願い」を繰り返すだけでなく)調整池の設置等、町に出来ることはないのか」を問うたところ、答えになっていない答弁があり、この様子を町長も黙認。被災者の感情に鑑み受け入れ難い町の姿勢と考えます。そこで以下問います。

・洪水による被災者から「適切に注意喚起してくれていれば、車だけでも安全な場所に移動できていた」、との声を多く耳にした。事実、少なからぬ車が実際に廃車になっている。注意喚起は町に出来ることであるが、十分行っていたと言えるか。

- ・葛川の治水対策として「調整池の設置等、町に出来ること」はないのか。
- ・葛川上流域の住宅に雨水タンク等の貯水機能の設置を促す事で、大雨に際して、葛川の水位低下に貢献できると考えるがいかがか。
- ・洪水による被災者は町に何を求めていると考えるか。

7

松崎 健
議員

		<p>峠公園隣接地の草刈り (放映件名：峠公園隣接地の草刈り)</p> <p>民地である峠公園隣接地の草刈りを巡っては、地権者による造成計画により最終決着が期待されたが、過日計画の中止が発表されたことで再び振出しに戻ってしまいました。当該地は民地であるとはいえ住宅地に隣接していることから、景観上の問題、枯れ草の火災リスク及びイノシシの出没に際しては住み着いてしまうのではないかと危惧等、様々な角度からの解決が求められています。</p> <p>然しながら、時にこの問題解決に奔走する県議に対しての納得しがたい職員の対応に、その理由を職員に問うも「答えは差し控える (R3.12月定例会)」と無責任な答弁。その答弁を町長は黙認。後に黙認した理由を改めて町長に問うたところ (R6.9月定例会)、町長はその場での回答を避け「後日直接応じる」ことを約束。町長との面談に際し、町長は職員への注意喚起を約束していただきましたが、その後、何のフィードバックもないため職員は反省しているのか不服なのか全く伝わって来ないことから再度町長室を訪問。職員から直接言葉をもらいたい旨を伝えさせていただきましたが残念ながら何もなしのまま現在に至っています。</p> <p>そもそもこの問題は、今回の質問2件目の「葛川の治水」同様、「誰ひとり取り残さない」を標榜する一方で、実際には少数派の窮状には耳を傾けない町長の姿勢を問うた令和6年9月定例会一般質問に端を発していますが、未だにはぐらかされているのが現状です。</p> <p>私自身、峠公園隣接地の地権者とは何度か面会していて、ある程度の感触はつかんでいるのですが、町長は部下に丸投げすることなく直接地権者に出向いてお願いすることで地権者は草刈に応じてくれると考えます。</p> <p>そこで以下を問います。</p> <p>・いつになったら峠公園隣接地の草刈りは完了するのか。</p>
8	小林 幸子 議員	<p>安全・安心に暮らせるまちづくりについて伺う (放映件名：安全・安心に暮らせるまちづくりについて)</p> <p>第6次二宮町総合計画 施策分野 11 都市基盤には、「町民の生活に不可欠な道路や橋りょう、下水道施設といったインフラは、老朽化が進んでいるものが多く、計画的な改修などを進める必要があり、順次対応していくことが求められています。」とあります。</p> <p>また、施策分野 13 公園・緑地では、「誰でも利用しやすい公園づくりを目指し、二宮町公園統廃合計画を策定しました。」とあります。</p> <p>このようななか、町民の皆さまの安全・安心につながる身近な問題である下記の5点について伺います。</p> <p>①松根地区で突然発生した倒木の理由等について ②道路及び側溝のひび割れ等の老朽化対策について ③消えている道路表示の補修工事予定等について ④路面のアスファルトにあいてしまった穴の修理対象の大きさ等について ⑤管理が不十分と思われる公園等の在り方について</p>